

## 感覚運動医学講座／皮膚科学分野 附属病院／皮膚科

## 1. 領域構成教職員・在職期間

教授	長谷川 稔	平成25年6月-
講師	徳力 篤	平成19年12月-(平成26年4月-現職)
助教	井戸 英樹	平成16年8月-平成17年9月、平成20年10月-
助教	高嶋 渉	平成17年4月-平成18年7月、平成23年4月-
助教	飯野 志郎	平成18年10月-平成18年12月、平成24年4月-
助教	知野 剛直	平成26年4月-

## 2. 研究概要

## 研究概要

## 1) 全身性強皮症の新規治療法の開発

炎症、線維化、血管障害を特徴とする全身性強皮症は膠原病のひとつであるが、いまだ良い治療法が確立されていない。このため、強皮症の動物モデルを用いて新規治療の探索を行っている。

## ・ケモカインを標的とした抗体治療

プレオマイシンの連日皮下注射により誘導される強皮症のモデルマウスにおいて、マクロファージなどの遊走に作用するケモカインCX3CL1を阻害するモノクローナル抗体の腹腔内注射による治療効果を検討している。本年度の研究において、この抗体治療が皮膚の炎症や線維化に加えて血管障害を抑制することがこれまでの検討で明らかとなり、その作用機序を解析している。抗体治療によってCX3CL1の受容体であるCX3CR1を発現したマクロファージなどの皮膚浸潤が著明に抑制されることがわかってきた。抗CX3CL1抗体は現在関節リウマチ患者などの臨床試験が進行しており、将来的には実際の強皮症患者の治療に発展させることを目指している。

## ・新規化合物を用いた治療

共同研究者らが開発したTGF- $\beta$ -Smadシグナルを抑制する新規化合物HPH-15の強皮症治療への有用性を検討している。プレオマイシン誘導性の強皮症モデルマウスにHPH-15を連日経口投与すると、皮膚の炎症や線維化が抑制され、問題となる副作用もみられないことがこれまでの検討でわかってきた。また、その作用機序についても解析を進めており、早期の炎症性マクロファージの浸潤やそれに引き続く線維化を誘導するM2マクロファージの浸潤を抑制することが明らかとなってきた。

## 2) 表皮に発現する蛋白デルモカインの役割の検討

乾癬やアトピー性皮膚炎などの炎症性皮膚疾患の患者病変部皮膚においては、正常な皮膚に比べて表皮上層にデルモカインの恒常的な発現が増強していることを報告してきた。また、*in vitro*ではデルモカインが表皮細胞の活性化や増殖を抑制する作用が認められた。しかし、*in vivo*での役割はよくわかっていないために、遺伝子欠損マウスを作成することにした。

## ・デルモカイン欠損マウスの作成

最近我々はデルモカイン欠損マウスを作成した、その表現型の解析を行っている。これまでの検討で、デルモカインの欠損により、生後10日間程度の限られた時期に皮膚の角化、かさつきがみられている。デルモカインは正常な角化に必要と考えられるが、その後症状が消失する理由としては、他の物質による代償機能が考えられる。角化やバリア機能に重要な他の分子との関わりも含めて現在その役割を詳しく解析している。

## ・デルモカインの皮膚疾患における役割の検討

上記のデルモカイン欠損マウスにイミキドを外用して乾癬を誘導すると、野生型マウスに比べて乾癬が著明に悪化することが明らかとなった。その機序としては、免疫組織染色、フローサイトメトリーなどを用いた解析により、デルモカインが好中球やIL-17A産生性の $\gamma\delta$ T細胞の浸潤を抑制している可能性が示唆されている。今後は、アトピー性皮膚炎などの他の皮膚疾患におけるデルモカインの役割についても検討していく予定である。

## 3) 硬化性萎縮性苔癬の血清診断法・抗原特異的な治療法の確立

硬化性萎縮性苔癬は難治性の炎症性疾患であり、慢性の経過中に発癌を生じることがある。確定診断が病理組織学的に行われることや、病勢を把握する血清マーカーが無いことなどの問題点を踏まえ、我々は簡便かつ侵襲の少ない血清診断法、ならびに新規の治療法の開発を模索している。

硬化性萎縮性苔癬患者の約7割に血清中抗ECM1抗体が存在することを我々は始めて報告した。その低い抗体価のために蛍光抗体間接法などの一般的な手法では検出が困難だったが、より鋭敏かつ特異性の高い血中抗体価の検出法を確立することを目指している。得られた知見は、抗ECM1抗体が本疾患のバイオマーカーとして、日常診療での病勢把握や治療効果の判定に応用できるかどうか検討を重ねていく予定である。

## 4) 肥満細胞症のc-kit遺伝子変異の集約的な解析

肥満細胞症は小児〜成人までの幅広い年齢層に様々な形態で生じる良性的腫瘍性疾患であるが、まれに白血化して悪性の転機を取るものが知られている。本疾患の予後や治療法の選択をする上で、我々は肥満細胞の異常な増殖に関わるc-kit遺伝子の変異、ならびにその変異の部位が関与している可能性について報告してきた。この遺伝子変異の検索を行っている施設は本邦では殆どないことから、現在当科が全国規模を見据えた、肥満細胞症におけるc-kit遺伝子解析のプラットフォームとしての役割を担えるような体制を整えている。

## キーワード

強皮症、乾癬、アトピー性皮膚炎、硬化性苔癬、新規治療

## 業績年の進捗状況

いずれの研究も順調に進んでおり、新たなプロジェクトも立ち上げている。

## 特色等

当教室では、膠原病のひとつで炎症、線維化、血管障害を特徴とする全身性強皮症を専門として力を入れて診療している。しかしながら、本疾患は膠原病の中でも最も治療反応性が悪く、いまだ治療法が確立されていない。このため、新規治療を開発すべく、2つのアプローチを行っている。ひとつは、マクロファージなどの組織への細胞浸潤を誘導するケモカインのひとつであるCX3CL1を抑制する抗体治療であり、もうひとつは線維化に重要なTGF- $\beta$ のシグナルを抑制する新規化合物の内服治療である。強皮症のモデルマウスにこれらの薬剤を投与し、炎症、線維化、血管障害などを抑制する効果が確認され、問題となる副作用はみられていない。いずれの薬剤も市販されていないものであり、どこでもできる研究ではない。将来的には、これらの薬剤を実際の強皮症患者や他の炎症性疾患や線維化疾患に投与する臨床試験へと発展させたい。また、薬剤の作用機序を検討する中で、強皮症の病態を明らかにする手がかりが得られるものと信じている。実際に、現在検討している強皮症のマウスモデルにおいて、早期の炎症期にはLy6Chiの炎症性マクロファージの皮膚への浸潤がみられ、後期の線維化の時期には線維化に関与するサイトカインを産生するM2マクロファージの浸潤がみられることがわかってきている。さらに詳細な機序について解析を進めている。

もうひとつの研究の大きな柱は、表皮に発現する蛋白デルモカインの役割の解明である。この蛋白は表皮の顆粒層に発現し、角化やバリア機能の他、炎症の抑制などに作用する可能性がこれまでの検討からわかってきている。しかし、その役割をより明らかにするために我々はデルモカインの欠損マウスを作成して、その表現型を解析している。このマウスでは生後10日間ほど、魚鱗癬のようなかさかさの皮膚を呈し、魚鱗癬のモデルとして有用な可能性がある。また、そのような角化異常がデルモカインがないことでは生じないのか、他の角化に関わる分子との関連も含めて解析を進めている。このように、本研究は皮膚の角化やバリア機能の解明に結びつく点で皮膚科学で重要な意味を持つ。そして、独自に作成した遺伝子欠損マウスを用いた解析であり、非常に独創性の高い研究といえる。

このマウスでは、その後の成長とともに皮膚の性状は異常がみられなくなってくる。しかしながら、このマウスに代表的な皮膚炎症性疾患である乾癬モデルを誘導すると野生型マウスに比べて劇的な悪化がみられる。その機序として、デルモカインが好中球やIL-17A産生性の $\gamma\delta$ T細胞の浸潤を抑制している可能性がこれまでの検討で示されている。このように、デルモカインは角化やバリア機能異常のみならず、免疫担当細胞にも作用してある種の炎症の抑制に作用しているものと考えられ、皮膚炎症性疾患におけるバリア機能と免疫異常とのクロストークの解明の一助になるとと思われる。そして、デルモカインの発現を促進するような治療が、将来的に実際の乾癬患者に有用となる可能性を秘めており、臨床的な意義も大きい。

## 本学の理念との関係

当教室では世界的水準での免疫学的な研究を推進しており、これらの研究成果は皮膚科学やリウマチ学の国際的なトップジャーナルに掲載されることを目標としている。また、これらの研究を通して、地域、国、国際社会に貢献できる研究者の育成を行っている。いずれの研究も、市販されていない治療薬や遺伝子欠損マウスを用いた独創性の高いものであり、難治性の皮膚疾患やリウマチ疾患における最新治療の開発に結びつく最先端の医学研究である。これらのおかげで、当教室での研究内容は本学の理念によく合致したものであり、その意義は大きいと考える。

## 3. 研究実績

区分	総数	
	2016年分	インパクトファクター（うち原著のみ） 2016年分
和文原著論文	6	
英文論文	ファーストオーサー	2.761 (2.761)
	コレスポンディングオーサー	2.775 (2.775)
	その他	26.399 (18.461)
	合計	31.935 (23.997)

## (A) 著書・論文等

## (1) 英文：著書等

## a. 著書

## b. 著書（分担執筆）

## c. 編集・編集・監修

## (2) 英文：論文等

## a. 原著論文（審査有）

- 1633001** Matsushita T, Mizumaki K, Kano M, Yagi N, Tennichi M, Takeuchi A, Okamoto Y, Hamaguchi Y, Murakami A, Hasegawa M, Kuwana M, Fujimoto M, Takehara K: Antimelanoma differentiation-associated protein 5 antibody level is a novel tool for monitoring disease activity in rapidly progressive interstitial lung disease with dermatomyositis. *Br J Dermatol.*, 176, 395-402, #3.744
- 1633002** Oyama N, Matsuda M, Hamada T, Numata S, Teye K, Hashimoto T, Hasegawa M.: Two novel missense mutations of STS gene underlie X-linked recessive ichthyosis: understanding of the mutational and structural spectrum. *J Eur Acad Dermatol Venereol.*, 30(9), 1629-1631, 201609 (症例報告), #2.761
- 1633003** Furukawa H, Oka S, Kawasaki A, Shimada K, Sugii S, Matsushita T, Hashimoto A, Komiya A, Fukui N, Kobayashi K, Osada A, Ihata A, Kondo Y, Nagai T, Setoguchi K, Okamoto A, Chiba N, Suematsu E, Kono H, Katayama M, Hirohata S, Sumida T, Migita K, Hasegawa M, Fujimoto M, Sato S, Nagaoka S, Takehara K, Tohma S, Tsuchiya N.: Human Leukocyte Antigen and Systemic Sclerosis in Japanese: The Sign of the Four Independent Protective Alleles, DRB1\*13:02, DRB1\*14:06, DQB1\*03:01, and DPB1\*02:01. *PLOS one.*, 11(6), e0154255, 201604, #2.775
- 1633004** Mugii N, Hasegawa M, Matsushita T, Hamaguchi Y, Oohata S, Okita H, Yahata T, Someya F, Inoue K, Muro S, Fujimoto M, Takehara K.: Oropharyngeal Dysphagia in Dermatomyositis: Associations with Clinical and Laboratory Features Including Autoantibodies. *PLOS one.*, 11(5), e0154746, 201604, #2.775
- 1633005** Kiyohara T, Maruta N, Iino S, Ido H, Tokuriki A, Hasegawa M: CD34-positive infantile myofibromatosis: Case report and review of hemangiopericytoma-like pattern tumors. *J Dermatol.*, 43, 1088-1091, 2016 (症例報告), #1.323
- 1633006** Matsushita T, Le Huu D, Kobayashi T, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Naka K, Hirao A, Muramatsu M, Takehara K, Fujimoto M.: A novel splenic B1 regulatory cell subset suppresses allergic disease through phosphatidylinositol 3-kinase-Akt pathway activation. *J Allergy Clin Immunol.*, 138(4), 1170-1182, 201610, #10.619

## b. 原著論文（審査無）

## c. 原著論文（総説）

- 1633007** Inoue Y, Hasegawa M, Maekawa T, Le Pavoux A, Asano Y, Abe M, Ishii T, Ito T, Isei T, Imafuku S, Irisawa R, Ohtsuka M, Ohtsuka M, Ogawa F, Kadono T, Koderu M, Kawakami T, Kawaguchi M, Kukino R, Kono T, Sakai K, Takahara M, Tanioka M, Nakanishi T, Nakamura Y, Hashimoto A, Hayashi M, Fujimoto M, Fujiwara H, Matsuo K, Madokoro N, Yamasaki O, Yoshino Y, Tachibana T, Ihn H: Wound/Burn Guidelines Committee.: The wound/burn guidelines - 1: Wounds in general. *J Dermatol.*, 43, 357-375, 201604, #1.323
- 1633008** Tachibana T, Imafuku S, Irisawa R, Ohtsuka M, Kadono T, Fujiwara H, Asano Y, Abe M, Ishii T, Isei T, Ito T, Inoue Y, Ohtsuka M, Ogawa F, Koderu M, Kawakami T, Kawaguchi M, Kukino R, Kono T, Sakai K, Takahara M, Tanioka M, Nakanishi T, Nakamura Y, Hashimoto A, Hasegawa M, Hayashi M, Fujimoto M, Maekawa T, Matsuo K, Madokoro N, Yamasaki O, Yoshino Y, Le Pavoux A, Tachibana T, Ihn H: Wound/Burn Guidelines Committee.: The wound/burn guidelines - 2: Guidelines for the diagnosis and treatment for pressure ulcers. *J Dermatol.*, 43, 469-506, 201604, #1.323
- 1633009** Isei T, Abe M, Nakanishi T, Matsuo K, Yamasaki O, Asano Y, Ishii T, Ito T, Inoue Y, Imafuku S, Irisawa R, Ohtsuka M, Ohtsuka M, Ogawa F, Kadono T, Koderu M, Kawakami T, Kawaguchi M, Kukino R, Kono T, Sakai K, Takahara M, Tanioka M, Nakamura Y, Hashimoto A, Hasegawa M, Hayashi M, Fujimoto M, Fujiwara H, Maekawa T, Matsuo K, Madokoro N, Yoshino Y, Le Pavoux A, Tachibana T, Ihn H: Wound/Burn Guidelines Committee.: The wound/burn guidelines - 3: Guidelines for the diagnosis and treatment for diabetic ulcer/gangrene. *J Dermatol.*, 43, 591-619, 201605, #1.323
- 1633010** Fujimoto M, Asano Y, Ishii T, Ogawa F, Kawakami T, Koderu M, Abe M, Isei T, Ito T, Inoue Y, Imafuku S, Irisawa R, Ohtsuka M, Ohtsuka M, Kadono T, Kawaguchi M, Kukino R, Kono T, Sakai K, Takahara M, Tanioka M, Nakanishi T, Nakamura Y, Hashimoto A, Hasegawa M, Hayashi M, Fujiwara H, Maekawa T, Matsuo K, Madokoro N, Yamasaki O, Yoshino Y, Le Pavoux A, Tachibana T, Ihn H: Wound/Burn Guidelines Committee.: The wound/burn guidelines - 4: Guidelines for the management of skin ulcers associated with connective tissue disease/vasculitis. *J Dermatol.*, 43, 729-757, 201606, #1.323
- 1633011** Ito T, Kukino R, Takahara M, Tanioka M, Nakamura Y, Asano Y, Abe M, Ishii T, Isei T, Inoue Y, Imafuku S, Irisawa R, Ohtsuka M, Ohtsuka M, Ogawa F, Kadono T, Kawakami T, Kawaguchi M, Kono T, Koderu M, Sakai K, Nakanishi T, Hashimoto A, Hasegawa M, Hayashi M, Fujimoto M, Fujiwara H, Maekawa T, Matsuo K, Madokoro N, Yamasaki O, Yoshino Y, Le Pavoux A, Tachibana T, Ihn H: Wound/Burn Guidelines Committee.: The wound/burn guidelines - 5: Guidelines for the management of lower leg ulcers/varicose veins. *J Dermatol.*, 43, 853-868, 2016, #1.323
- 1633012** Yoshino Y, Ohtsuka M, Kawaguchi M, Sakai K, Hashimoto A, Hayashi M, Madokoro N, Asano Y, Abe M, Ishii T, Isei T, Ito T, Inoue Y, Imafuku S, Irisawa R, Ohtsuka M, Ogawa F, Kadono T, Kawakami T, Kukino R, Kono T, Koderu M, Takahara M, Tanioka M, Nakanishi T, Nakamura Y, Hasegawa M, Fujimoto M, Fujiwara H, Maekawa T, Matsuo K, Yamasaki O, Le Pavoux A, Tachibana T, Ihn H: The wound/burn guidelines - 6: Guidelines for the management of burns. *J Dermatol.*, 43, 989-1010, 2016, #1.323

## d. その他研究等実績（報告書を含む）

## e. 国際会議論文

## (3) 和文：著書等

## a. 著書

## b. 著書（分担執筆）

- 1633013** 伊 浩信, 神人 正寿, 山本 俊幸, 浅野 善英, 石川 治, 佐藤 伸一, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 藤本 学: 好酸球性筋膜炎: 全身性強皮症・限局性強皮症・好酸球性筋膜炎・硬化性萎縮性苔癬の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン. 金原出版㈱, 182-201, 2017
- 1633014** 伊 浩信, 長谷川 稔, 石川 治, 浅野 善英, 佐藤 伸一, 神人 正寿, 竹原 和彦, 藤本 学, 山本 俊幸: 硬化性萎縮性苔癬: 全身性強皮症・限局性強皮症・好酸球性筋膜炎・硬化性萎縮性苔癬の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン. 金原出版㈱, 204-217, 2017
- 1633015** 伊 浩信, 浅野 善英, 藤本 学, 石川 治, 佐藤 伸一, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 山本 俊幸: 限局性強皮症: 全身性強皮症・限局性強皮症・好酸球性筋膜炎・硬化性萎縮性苔癬の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン. 金原出版㈱, 132-181, 2017
- 1633016** 長谷川 稔: トラクリア(全身性強皮症手指潰瘍): 発症抑制効果あり?: 宮地 良樹: 皮膚科新薬の使い方, メディカルレビュー社, 130-135, 2017
- 1633017** 長谷川 稔: 寒冷刺激: 古川 福実: *Visual Dermatology*16(3), ㈱学研ルディカル秀潤社, 176-179, 2017

- 1633018 長谷川 稔: 全身性エリテマトーデス: 渡辺晋一、古川福実: 皮膚疾患 最新の治療 2017-2018, 南江堂, 81-83, 2016
- 1633019 長谷川 稔: 結節性紅斑: 福井次夫、高木 誠、小室一成: 今日の治療指針 私はこう治療している TODAY' S THERAPY 2017, (株)医学書院, 1191, 2017
- 1633020 長谷川 稔: 全身性強皮症: 永井 良三、佐藤伸一、藤本 学: 皮膚科研修ノート, 診断と治療社, 298-299, 2016
- 1633021 長谷川 稔: III診断 病型分類と自然経過: 佐藤伸一: SCLERODERMA, 医療ジャーナル社, 100-107, 2016
- 1633022 長谷川 稔: III診断 バイオマーカー: SCLERODERMA, 医療ジャーナル社, 108-117, 2016
- 1633023 長谷川 稔: 全身性強皮症: 大谷道輝、宮地良樹: マイスターから学ぶ皮膚科治療薬の服薬指導術, メディカルレビュー社, 368-371, 2016

## c. 編集・編集・監修

## (4) 和文: 論文等

## a. 原著論文 (審査有)

- 1633024 宇都宮 夏子, 飯野 志郎, 馬場 夏希, 井戸 英樹, 徳力 篤, 長谷川 稔: 中指に生じたA群β溶血性連鎖球菌による壊死性軟部組織感染症の1例, 皮膚科の臨床, 58(12), 1809-1812, 2016
- 1633025 尾山 徳孝, 高嶋 渉, 長谷川 稔: 線状IgA水疱症 vs 水疱性エリテマトーデス, Visual Dermatology., 7(15), 687-689, 2016
- 1633026 山口 由佳, 飯野 志郎, 宇都宮 慧, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔: 脂漏性角化症から発生したと考えられた有棘細胞癌の1例, skin cancer, 31(3), 272-275, 2016
- 1633027 馬場 夏希, 高嶋 渉, 宮永 美紀, 徳力 篤, 新家 裕朗, 池ヶ谷 諭史, 岩崎 弘道, 光戸 勇, 長谷川 稔: Mycobacterium abscessusによる両下腿の皮膚非結核性酸菌性の1例, 皮膚科の臨床, 58(8), 1325-1329, 2016
- 1633028 藤原 純子, 木村 かおり, 竹下 治男, 飯田 礼子, 尾山 徳孝, 知野 剛直, 長谷川 稔, 植木 美鈴, 安田 年博: 尋常性乾癬など不全角化病変のリスクファクターとなるDNase I-like 2遺伝子におけるfunctional SNPsの同定, DNA多型, 24(1), 208-213, 201609
- 1633029 飯野 志郎, 長谷川 稔: 壊死性筋膜炎 vs 丹毒, Visual Dermatology., 7(15), 735-737, 2016

## b. 原著論文 (審査無)

## c. 総説

- 1633030 古川 福実, 池田 高治, 石黒 直子, 宇月 美和, 尾崎 承一, 勝岡 憲生, 幸野 健, 川上 民裕, 川名 誠司, 小寺 雅也, 澤井 高志, 沢田 泰之, 清島 真理子, 谷川 暎子, 陳 科榮, 長谷川 稔: 血管炎・血管障害診療ガイドライン2016年改訂版, 日本皮膚科学会誌, 127(3), 299-415, 2016
- 1633031 藤田 英樹, 井上 雄二, 長谷川 稔, レバウー・アンドレ, 新谷 洋一, 辻田 淳, 茂木 精一郎, 加納 宏行, 金子 栄: 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン 創傷一般～ガイドライン改訂版の概要, 日本皮膚科学会誌, 127(1), 1-7, 2016
- 1633032 長谷川 稔: 全身性強皮症における爪郭部のダーモスコピー所見, 臨床皮膚科, 70(5(増刊号)), 70-74, 201604
- 1633033 長谷川 稔: ホスホジエステラーゼ5阻害薬, 皮膚科の臨床(皮膚科の薬剤と医療機器 最近10年間の進歩), 58(6(5月臨時増刊号)), 978-982, 201605
- 1633034 長谷川 稔: 全身性強皮症の臨床研究: 予後改善に向けて, 金沢大学十全医学会雑誌, 125(1), 23-24, 2016
- 1633035 神人 正寿, 山本 俊幸, 浅野 善英, 石川 治, 佐藤 伸一, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 藤本 学, 伊 浩信: 好酸球性筋膜炎 診断基準・重症度分類・診療ガイドライン, 日本皮膚科学会誌, 126(12), 2241-2250, 2016
- 1633036 長谷川 稔, 石川 治, 浅野 善英, 佐藤 伸一, 神人 正寿, 竹原 和彦, 藤本 学, 山本 俊幸, 伊 浩信: 硬化性萎縮性苔癬 診断基準・重症度分類・診療ガイドライン, 日本皮膚科学会誌, 126(12), 2251-2257, 2016

## d. その他研究等実績 (報告書を含む)

- 1633037 長谷川 稔: 巻頭言 組織の中でどう成長すべきか? させるべきか?, 皮膚科の臨床, 59(1), 7-8, 201701
- 1633038 小泉 遼, 長谷川 稔: スキルアップのためのQ&A ループスアンチコアグラントの検査方法とその解釈について教えて下さい, 皮膚アレルギーフロンティア, 15(1), 52
- 1633039 小泉 遼: 日経メディクイズ 皮膚 65歳女性。両手の皮疹と咳嗽, 日経メディカル, 77-78, 201608

## e. 国際会議論文

## (B) 学会発表等

## (1) 国際学会

## a. 招待・特別講演等

## b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演 (口演)

- 1633040 Vu H. Luong, Chino T, Tokuriki A, Oyama N, Sasaki Y, Ogura D, Niwa S, Fujita M, Okamoto Y, Otsuka M, Ihn H, Hasegawa M.: A novel small compound that antagonizes TGF-β/Smad signaling ameliorates bleomycin-induced skin fibrosis., The 41st Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Sendai, 20161209, program, 175
- 1633041 Utsunomiya N, Oyama N, Chino T, Utsunomiya A, Hasegawa M.: Selective alteration of hemidesmosomal antigens in lichen sclerosus skin: an immunohistochemical study on confocal laser scanning microscope., The 41st Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Sendai, 20161209, program, 223
- 1633042 Utsunomiya A, Chino T, Tokuriki A, Vu Huy Loung, Oyama N, Higashi K, Saito K, Hasegawa M.: Dermokine β/r deficiency causes the selective impairment of epidermal barrier function in mice., The 41st Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Sendai, 20161209, program, 224

## d. 一般講演 (ポスター)

- 1633043 Utsunomiya A, Chino T, Tokuriki A, Vu Huy Loung, Oyama N, Higashi K, Saito K, Hasegawa M.: Dermokine β/r deficiency causes the selective impairment of epidermal barrier function in mice., The 41st Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Sendai, 20161209
- 1633044 Utsunomiya N, Oyama N, Chino T, Utsunomiya A, Hasegawa M.: Selective alteration of hemidesmosomal antigens in lichen sclerosus skin: an immunohistochemical study on confocal laser scanning microscope., The 41st Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Sendai, 20161209
- 1633045 Kobayashi T, Matsushita T, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K.: Dual aspects of B cells in tumor immunity: B cells are capable of positive and negative regulation for tumor immunity against B16 melanoma., The 41st Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Sendai, 20161209

**1633046** Vu H.Luong, Chino T, Tokuriki A, Oyama N, Sasaki Y, Ogura D, Niwa S, Fujita M, Okamoto Y, Otsuka M, Ihn H, Hasegawa M.: A novel small compound that antagonizes TGF- $\beta$ /Smad signaling ameliorates bleomycin-induced skin fibrosis., The 41th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, 仙台市, 20161209

## e. 一般講演

## f. その他

## (2) 国内学会 (全国レベル)

## a. 招待・特別講演等

**1633047** 長谷川 稔: 強皮症:実践的な診療から最新の治療まで (教育講演23), 第115回日本皮膚科学会総会, 京都市, 20160603, 抄録, 773, 2016

**1633048** 辻田 淳, 井上 雄二, 長谷川 稔, レバヴーアンドレ, 藤田 英樹, 新谷 洋一, 茂木 精一郎, 加納 宏行, 金子 栄: 創傷・褥瘡・熱傷ガイドラインにおける創傷一般 (教育講演21), 第115回日本皮膚科学会総会, 京都市, 20160603, 抄録, 768, 2016

**1633049** 長谷川 稔: リウマチ医に必要な皮膚科診療の知識, 第28回日本リウマチ学会・中部リウマチ学会中部支部学術集会, 福井市, 201609

**1633050** 長谷川 稔: 強皮症・皮膚筋炎・エリテマトーデス Up to date, 第67回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 大阪市, 20161022

## b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演 (口演)

**1633051** 知野 剛直, 尾山 徳孝, 宇都宮 慧, 宇都宮 夏子, 高嶋 渉, 井戸 英樹, 宮永 美紀, 徳力 篤, 長谷川 稔, 井戸 敏子: 「母斑・形成異常他」遺伝子診断に難渋している小児の色素異常症の1例, 第40回日本小児皮膚科学会, 広島市, 20160702, 抄録集, 104

**1633052** 小泉 遼, 井戸 英樹, 上杉 沙織, 島田 絵理華, 大岩 加奈, 田居 克規, 津谷 寛, 糟野 健司, 長谷川 稔: 強皮症腎クワイゼと血栓性血小板減少症類縁疾患を合併した抗トポイソメラーゼI抗体陽性の全身性強皮症の1例, 第40回皮膚脈管・膠原病研究会, 福島市, 20170120, 抄録集, 52, 2017

**1633053** 飯野 志郎, 笠松 宏至, 宇都宮 慧, 宇都宮 夏子, 山口 由佳, 高嶋 渉, 長谷川 稔: 顔面のin-transit転移に対し、インターフェロン $\beta$ 局所注射治療後にニボルマブを投与した悪性黒色腫の1例, 第32回日本悪性腫瘍学会学術大会, 鹿児島市, 120, 201605

**1633054** 山口 由佳, 飯野 志郎, 笠松 宏至, 宇都宮 慧, 高嶋 渉, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔: 顔面in-transit melanomaに対するニボルマブ投与中に生じた乾癬様皮疹の1例, 第46回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会, 東京都新宿区, 20161105, 抄録集, 413

**1633055** 宇都宮 慧, 高嶋 渉, 小泉 遼, 加藤 卓浩, 知野 剛直, 徳力 篤, 小林 奈美子, 徳永 貴広, 長谷川 稔: 免疫グロブリン静注療法とバルーン拡張術が高度な嚥下障害に有効であった皮膚筋炎の1例, 第40回皮膚脈管・膠原病研究会, 福島市, 20170120, 抄録集, 43

**1633056** 山口 由佳, 飯野 志郎, 宇都宮 慧, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔: 脂漏性角化症に合併したと考えられた有棘細胞癌の1例, 第32回日本悪性腫瘍学会学術大会, 鹿児島市, 20160527, 抄録集, 162, 201605

**1633057** 江森 功一, 宇都宮 慧, 小泉 遼, 知野 剛直, 飯野 志郎, 徳力 篤, 石黒 和守, 長谷川 稔: 早期胃癌を合併した抗TIF-r抗体陽性の皮膚筋炎の2例, 第115回日本皮膚科学会総会 (Future Dermatological Session), 京都市, 20160604, 抄録, 26

**1633058** 宇都宮 慧, 飯野 志郎, 宇都宮 夏子, 加藤 卓浩, 馬場 夏希, 山口 由佳, 知野 剛直, 長谷川 稔: イピリムマブ投与後にStevens-Johnson症候群を生じた頭部悪性黒色腫の1例, 第67回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 大阪市, 20161022, 抄録集, 147

**1633059** 加藤 卓浩, 飯野 志郎, 宇都宮 慧, 小泉 遼, 長谷川 稔, 多賀 峰克, 村上 真, 藤林 哲男: 下半身麻痺患者の坐骨部褥瘡から生じたFournier壊疽の1例, 第67回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 大阪市, 20161022, 抄録集, 156

**1633060** 小泉 遼, 飯野 志郎, 宇都宮 慧, 徳力 篤, 長谷川 稔, 今村 好章, 石黒 和守: 同一病巣内に棘細胞癌と基底細胞癌が併存した1例, 第80回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 浜松市, 20161029, 抄録集, 121

**1633061** 徳力 篤, 知野 剛直, 尾山 徳孝, 東 清史, 齋藤 幸一, 長谷川 稔: イミキモド誘発乾癬モデルマウスにおけるデルモカイン $\beta$ /r の機能解析, 第31回日本乾癬学会学術大会, 宇都宮市, 20160902, 抄録集, 189

**1633062** 宇都宮 夏子, 宇都宮 慧, 宮永 美紀, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔: 多形コ紅斑様皮疹を生じた中毒疹の1例: ミドリムシ製剤とDLSTの有効性についての検討, 第46回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会, 東京都新宿区, 20161105, 抄録集, 403

**1633063** 飯野 志郎, 馬場 夏希, 宇都宮 夏子, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔: 巨大な腫瘤を形成した頭部乳頭状皮膚炎の1例, 第31回日本皮膚外科学会総会・学術集会, 沼津市, 20160910, 抄録集, 195, 2016

**1633064** 高橋 秀典, 尾山 徳孝, 長谷川 稔: C.giliiromoniiによるガンジタ性爪囲炎の1例, 第279回日本皮膚科学会東海地方会, 津市, 201703

**1633065** Vu H.Luong, Chino T, Oyama N, Kuboi Y, Obara T, Machinaga A, Ogasawara H, Ikeda W, Imai T, Hasegawa M.: Anti-CX3CL1 antibody therapy attenuates the development of bleomycin-induced and growth factors-induced skin fibrosis in mice., 第45回日本免疫学会総会・学術集会, 沖縄県宜野湾市, 20161205

**1633066** Vu Huy Luong, 知野 剛直, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 小原 隆, 久保井 良和, 待永 明仁, 小笠原 秀晃, 池田 わたる, 今井 俊夫: Anti-CX3CL1 monoclonal antibody therapy or CX3CR1 deficiency inhibits skin fibrosis in bleomycin-induced scleroderma model., 厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業」研究班2016年度班会議・厚生労働省「強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究」研究班2016年度班会議・第20回強皮症研究会 合同会議, 東京都中央区, 20170114

**1633067** Vu Huy Luong, 知野 剛直, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 藤田 美歌子, 岡本 良成, 大塚 雅也, 伊 浩信: A novel small compound HPH-15 ameliorates bleomycin-induced fibrosis of the skin and lungs in mice., 厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業」研究班2016年度班会議・厚生労働省「強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究」研究班2016年度班会議・第20回強皮症研究会 合同会議, 東京都中央区, 20170114

**1633068** 馬場 夏希, 八代 浩, 長谷川 義典, 加藤 卓浩: S-1が奏功した乳房外Paget病の1例, 第67回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 大阪市, 20161022, 抄録集, 162

## d. 一般講演 (ポスター)

**1633069** 知野 剛直, 尾山 徳孝, 井戸 英樹, 宮永 美紀, 徳力 篤, 長谷川 稔, 井戸 敏子: 診断に苦慮している色素異常症の1例, 第115回日本皮膚科学会総会, 京都市, 20160603, 抄録, 961

**1633070** 宮永 美紀, 飯野 志郎, 徳力 篤, 長谷川 稔, 小上 瑛也, 丸田 直樹, 早川 幸紀: 高齢者の後頭部に生じたchronic expanding hematomaの1例, 第115回日本皮膚科学会総会, 京都市, 20160603, 抄録, 966

**1633071** 小泉 遼, 飯野 志郎, 宇都宮 慧, 徳力 篤, 小上 瑛也, 今村 好章, 横田 日高, 長谷川 稔: 下肢に生じたSpindle cell squamous cell carcinomaの1例, 第115回日本皮膚科学会総会, 京都市, 20160603, 抄録, 985

**1633072** 笠松 宏至, 飯野 志郎, 宇都宮 慧, 知野 剛直, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔: ダーモスコピー所見から基底細胞癌を考えた内眼角部アポクリン汗腫の1例, 第67回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 大阪市, 20161022, 抄録集, 176

**1633073** 知野 剛直, 徳力 篤, 宇都宮 慧, Vu Huy Luong, 尾山 徳孝, 東 清史, 齋藤 幸一, 長谷川 稔: 乾癬の病態におけるデルモカイン $\beta$ /rの役割, 第44回日本臨床免疫学会総会, 東京都新宿区, 20160908, 抄録, 379

**1633074** 宇都宮 夏子, 宇都宮 慧, 宮永 美紀, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔: 多形コ紅斑様皮疹を生じた中毒疹の1例: ミドリムシ製剤とDLSTの有効性についての検討, 第46回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会, 東京都新宿区, 20161105

**1633075** 安富 素子, 河北 亜希子, 山田 健太, 鈴木 孝二, 真弓 光文, 大嶋 勇成, 長谷川 稔, 宮川 和彦: レイノー現象に対してPDF5阻害剤が有効であった混合結合組織病の1例, 第40回日本小児皮膚科学会, 広島市, 20160702, 抄録集, 116, 201607

## e. 一般講演

## f. その他

## (3) 国内学会（地方レベル）

## a. 招待・特別講演等

**1633076** 長谷川 稔：膠原病の皮膚病変：最近の話題，日本皮膚科学会新潟地方会第385回例会，新潟県新潟市，20170326

## b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演（口演）

**1633077** 小泉 遼，井戸 英樹，島田 絵理華，長谷川 稔，西村 陽一：顎下腺様嚢胞癌の経過に伴って症状が変化した皮膚筋炎の1例，日本皮膚科学会北陸地方会第452回例会，金沢市，20161211

**1633078** 栗田 絵里華，尾山 徳孝，高嶋 渉，長谷川 稔，石黒 和守：ミノサイクリン局注療法が奏効した再発性耳介偽嚢腫の1例，日本皮膚科学会北陸地方会第450回例会，金沢市，20160626

**1633079** 島田 絵理華，加藤 卓浩，高嶋 渉，知野 剛直，徳力 篤，長谷川 稔：多様な合併症を伴い顆粒球吸着療法が奏効した膿疱性乾癬の1例，日本皮膚科学会北陸地方会第451回例会，福井市，20160911

**1633080** 飯野 志郎，加藤 卓浩，笠松 宏至，高嶋 渉，尾山 徳孝，長谷川 稔：足底desmoplastic melanomaの1例，日本皮膚科学会第460回大阪地方会，和歌山市，20170311

**1633081** 小泉 遼，飯野 志郎，宇都宮 慧，徳力 篤，長谷川 稔，小上 瑛也，今村 好章，横田 日高：下肢に生じたSpindle cell squamous cell carcinomaの1例，第123回福井県皮膚科医会例会，福井市，20160526

**1633082** 馬場 夏希，飯野 志郎，宇都宮 慧，徳力 篤，長谷川 稔，小村 一浩：広背筋筋層下に生じたintravascular papillary endphtelial hyperplasiaの1例，日本皮膚科学会北陸地方会第450回例会，金沢市，20160626

**1633083** 笠松 宏至，飯野 志郎，加藤 卓浩，徳力 篤，長谷川 稔：Vibrio vulnificusによる上股壊死性筋膜炎の2例，日本皮膚科学会北陸地方会第451回例会，福井市，20160911

**1633084** 加藤 卓浩，飯野 志郎，宇都宮 夏子，笠松 宏至，長谷川 稔，矢野 泰弘，石田 久哉：多発性マダニ咬症の1例，日本皮膚科学会北陸地方会第452回例会，金沢市，20161211

**1633085** 笠松 宏至，飯野 志郎，宇都宮 慧，加藤 卓浩，徳力 篤，長谷川 稔，坂井 秀彰：軟骨皮膚弁で再建した耳輪部悪性腫瘍の2例，日本皮膚科学会北陸地方会第452回例会，金沢市，20161211

**1633086** 加藤 卓浩，飯野 志郎，山口 由佳，馬場 夏希，笠松 宏至，宇都宮 夏子，尾山 徳孝，徳力 篤，長谷川 稔，小練 研司，澤井 利次：肛門部悪性黒色腫の1例，日本皮膚科学会北陸地方会第453回例会，金沢市，20170226

**1633087** 宮永 美紀，尾山 徳孝，徳力 篤，長谷川 稔：Ca拮抗薬による乾癬型薬疹の1例，日本皮膚科学会北陸地方会第450回例会，金沢市，20160626

**1633088** 宇都宮 夏子，新野 保路，宇都宮 慧，笠松 宏至，島田 絵理華，山口 由佳，宮永 美紀，知野 剛直，尾山 徳孝，徳力 篤，長谷川 稔：多形コ紅斑様皮疹を生じた中毒疹の1例 健康食品とDLSTの有用性についての検討，第124回福井県皮膚科医会例会，福井市，20161119

**1633089** 島田 絵理華，徳力 篤，知野 剛直，長谷川 稔，五十嵐 愛子，大嶋 勇成：超低出生体重児の乳児血管腫にプロプラノロール内服が奏効した1例，日本皮膚科学会北陸地方会第453回例会，金沢市，20170226

**1633090** 小泉 遼，井戸 英樹，上杉 沙織，島田 絵理華，尾山 徳孝，長谷川 稔，大岩 加奈，多居 克規，津谷 寛，糟野 健司：強皮症腎クリーゼと大量の腹水を呈した全身性強皮症の1例，第125回福井県皮膚科医会例会，福井市，20170316

**1633091** 井戸 英樹，加藤 卓浩，長谷川 稔，佐藤 英，清原 隆宏：レーザー外来6年間の治療経験，日本皮膚科学会北陸地方会第453回例会，金沢市，20170226

**1633092** 八代 浩，馬場 夏希，長谷川 義典，加藤 卓浩：80歳以上の高齢者における下肢静脈瘤血管内焼灼術の検討，第31回日本皮膚外科学会総会・学術集会，沼津市，20160910，抄録集，202

## d. 一般講演（ポスター）

## e. 一般講演

## f. その他

## (4) その他の研究会・集会

## a. 招待・特別講演等

**1633093** 長谷川 稔：乾癬の薬物治療について，日本病院薬剤師会学術講演会，福井県福井市，201607

**1633094** 長谷川 稔：「乾癬治療における病診連携」，敦賀コセンティクス講演会，福井県敦賀市，201609

## b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演（口演）

**1633095** 飯野 志郎：当科におけるニボルマブの使用経験，福井県メラノーマ研究会，福井県福井市，20160630

**1633096** 長谷川 稔：「全身性強皮症：PAHを含めた血管病変」，「PAHを考える会 IN 永平寺」，福井県吉田郡，201610

**1633097** 長谷川 稔：「膠原病の上手な付き合い方」，相談会（膠原病），福井県あわら市，20161125

**1633098** 宇都宮 慧：皮膚バリア機能や接触皮膚炎におけるデルモカインの役割，第7回皮膚科最新医療研究会，石川県金沢市，20161007

**1633099** 小泉 遼：膠原病の最新治療について～全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、皮膚筋炎を中心に～，難病患者相談会，越前市，20161027

## d. 一般講演（ポスター）

## e. 一般講演

## f. その他

## (C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

## (D) その他業績

## 4. グラント取得

## 業績一覧

## (A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間(年度)	金額(配分額)
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間(年度)	金額(配分額)
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	抗CX3CL1中和抗体を用いた全身性強皮症の治療法の開発	長谷川 稔		2016	1690000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	皮膚創傷形成から治癒過程におけるテルモカインβの役割	飯野 志郎		2016	910000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	胎仔期循環血液内の間葉系幹細胞を利用した遺伝性・難治性皮膚疾患の新規治療法の確立	知野 剛直		2016	1170000

## (B) 奨学寄附金

受入件数	24
受入金額	11600000

## 5. その他の研究関連活動

## (A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
国内学会(地方レベル)	主催者	日本皮膚科学会北陸地方会第451回例会福井分科会	20160911-20160911	福井市

## (B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本皮膚科学会	代議員	長谷川 稔
日本研究皮膚科学会	理事	長谷川 稔
日本皮膚免疫アレルギー学会	理事	長谷川 稔
日本乾癬学会	評議員	長谷川 稔
日本臨床免疫学会	評議員	長谷川 稔
日本免疫学会	一般会員(一般会員)	長谷川 稔
日本リウマチ学会	一般会員(一般会員)	長谷川 稔
強皮症研究会	監事	長谷川 稔
米国リウマチ学会	一般会員(一般会員)	長谷川 稔
日本皮膚外科学会	一般会員	清原 隆宏
日本皮膚悪性腫瘍学会	皮膚悪性腫瘍ガイドライン作成委員(一般会員)	清原 隆宏
日本皮膚科学会	一般会員	清原 隆宏
日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会	コアスタッフ(その他)	高橋 秀典
日本褥瘡学会	一般会員	井戸 敏子
日本美容皮膚科学会	一般会員	井戸 敏子
日本アレルギー学会	一般会員	井戸 敏子
日本臨床皮膚科学会	一般会員	井戸 敏子
日本性感染症学会	一般会員	高橋 秀典
日本褥瘡学会	評議員	高橋 秀典
日本真菌学会	一般会員	高橋 秀典
日本皮膚科学会	一般会員	高橋 秀典
日本皮膚外科学会	一般会員	川見 健也
日本皮膚悪性腫瘍学会	一般会員	川見 健也
日本皮膚病理組織学会	一般会員	川見 健也
日本形成外科学会	一般会員	安田 聖人
日本臨床免疫学会	一般会員	高嶋 涉
日本皮膚悪性腫瘍学会	一般会員	高嶋 涉
日本皮膚病理組織学会	一般会員	高嶋 涉
日本皮膚科学会	一般会員	高嶋 涉
日本真菌学会	一般会員	高嶋 涉
日本皮膚科学会中部支部	一般会員	高嶋 涉
日本皮膚科学会北陸地方会	一般会員	高嶋 涉
日本皮膚病理組織学会	一般会員	西川 美都子
日本皮膚科学会	一般会員	西川 美都子

## (C) 座長

国内学会	学会名	氏名
一般講演(口演)	The 4th Eastern Asia Dermatology Congress	長谷川 稔
招待・特別講演等	第67回日本皮膚科学会中部支部学術大会	長谷川 稔
招待・特別講演等	第8回東海・北陸膠原病循環障害研究会	長谷川 稔
招待・特別講演等	第115回日本皮膚科学会総会	長谷川 稔
一般講演(口演)	第115回日本皮膚科学会総会	長谷川 稔
一般講演(口演)	日本皮膚科学会北陸地方会第451回例会福井分科会	長谷川 稔
招待・特別講演等	第7回皮膚科最新医療研究会	長谷川 稔
招待・特別講演等	第67回日本皮膚科学会中部支部学術大会	長谷川 稔
シンポジウム等	第80回日本皮膚科学会東部支部学術大会	長谷川 稔
その他	第46回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会	長谷川 稔
一般講演(口演)	The 4th Eastern Asia Dermatology Congress	長谷川 稔
その他	日本研究皮膚科学会第41回年次学術大会・総会	長谷川 稔

## 業績一覧

一般講演（口演）	日本研究皮膚科学会第41回年次学術大会・総会	長谷川 稔
その他	厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業」研究班2016年度班会議・厚生労働省「強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究」研究班2016年度班会議・第20回強皮症研究会議 合同会議	長谷川 稔
一般講演（口演）	第40回皮膚脈管・膠原病研究会	長谷川 稔
一般講演（口演）	日本皮膚科学会北陸地方会第453回例会	徳力 篤
一般講演（口演）	日本皮膚科学会北陸地方会第452回例会	徳力 篤

## (D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
日本皮膚科学会雑誌		長谷川 稔
Rheumatology (Oxford)		長谷川 稔
Mod Rheumatol.		長谷川 稔
Mod Rheumatol Case Rep.		長谷川 稔
Mediators of Inflammation.		長谷川 稔
J Scleroderma Rel Disord		長谷川 稔
J Rheumatol.		長谷川 稔
J Invest Dermatol.		長谷川 稔
J Immunol Res.		長谷川 稔
J Eur Acad Dermatol Venereol.		長谷川 稔
J Dermatol.		長谷川 稔
J Dermatol Sci.		長谷川 稔
Int J Rheumatol Dis.		長谷川 稔
Exp Dermatol.		長谷川 稔
Eur J Dermatol.		長谷川 稔
Dermatol Res Pract.		長谷川 稔
Dermatol Clin Res.		長谷川 稔
Case Rep Rheumatol.		長谷川 稔
Br J Dermatol.		長谷川 稔
Arthritis Rheumatol.		長谷川 稔
Journal of Dermatology Research & Therapy	委員	長谷川 稔
Journal of Dermatology.	委員	長谷川 稔
Journal of Dermatological Science.	委員	長谷川 稔

## (E) その他

1633100  
1633101  
1633102  
1633103  
1633104

飯野 志郎：“元気で医こう”悪性黒色腫の最新治療（日刊県民福井），20161022  
徳力 篤：“元気で医こう”関節症性乾癬を見逃さないために（日刊県民福井），20160528  
長谷川 稔：“元気で医こう”皮膚に症状きたす膠原病も（日刊県民福井），20160611  
加藤 卓浩：おかえりなさいホームドクター（福井テレビ），「とびひについて」，20160919  
笠松 宏至：おかえりホームドクター（福井テレビ），「低温やけどについて」，20170220